

大地震、大津波： 万が一の災害時、 あなたはどう行動しますか！



四方を美しい海に囲まれ、その恵みを受ける与論町。見方をかえると、低地帯に多くの住宅や商業地が広がるこの町は、常に大自然の脅威にさらされているということでもあります。昨年3月11日に発生した東日本大震災では、その地震に伴う津波により、多くの尊い命が一瞬のうちに失われました。もしもの時、自分自身と家族を守るため、そして地域を守るために、日頃から防災意識を高め、まずできることから防災対策をはじめましょう。



茶花・立長地区を対象とした地震・津波避難訓練が、2月23日に実施されました。訓練は、沖縄本島近海でマグニチュード8・0の地震が発生、本町に6メートルを超える大津波が襲来することを想定して実施。役場や関係機関、地域の自主防災組織、地域住民らが参加し、災害時の避難経路の確認や相互連携を図りました。

13時、地震発生のアラームと共に訓練が開始。役場では、関係機関との情報伝達が行われる中、砂美地来館に移動し、災害対策本部を設置。次々と被害情報の連絡が入る中、避難所の状況確認や測候所とのやり取り、津波情報の放送などの訓練が行われました。

一方、茶花子ども園では、「おさない」「かけない」「しゃべらない」「もどらない」「ちかづかない」（おかしもち）を約束し訓練に臨みました。訓練開始のアラームが鳴ると、子どもたちは一斉に机の下にもぐりこみ安全を確保。その後、逃げ遅れることなく園庭へ避難しました。

災害は、いつやってくるかわかりません。今回の訓練での問題点や課題を生かし、日頃から備えや身の回りの防災対策に取り組み、万が一の災害に備えましょう。



▲公民館に避難してきた町民のみなさん。消防団員により、避難状況の確認が行われました。

▲災害対策本部には、次々と被害の情報が。情報の把握に追われました。

◀地震の揺れが収まり、園庭に避難する子どもたち。本番さながらの訓練に、思わず泣き出す子どももいました。

自分の命は自分で守ろう！

茶花小学校で、災害時を想定した図上訓練を実施



▲地図上に、災害時における危険個所に印をつけ、登下校時の避難ルートを確認しました。

同日、茶花小学校5、6年生を対象に、名瀬測候所による図上訓練が行われました。

この訓練は、地図を見ながら、自分の家や通学路で災害に遭ったときに、危険だと思われる場所（海や用水路の近く、倒壊するおそれのあるブロック塀や自動販売機、過去に災害が起こった場所などに印をつけ、その場所を避けて安全に避難場所にたどり着くには、どのような経路が良いかを確認する訓練です。

生徒たちはグループに分かれ、自分が知っている危険な場所を話し合いながら地図に色を塗り、話し合った結果を発表しました。

最後に校長先生は生徒たちに対し、「災害時、自分の命は自分で守らなければなりません。その時には、沢山のことを自分で考えて行動をしなければいけません。」と話し、普段から家の人と災害時の行動を話しておくことの大切さを伝えました。

普段から地震に対して備えましょう！

1. 家族との連絡方法

□NTT 171 災害用伝言ダイヤル

録音方法 171+1+自宅の電話番号

再生方法 171+2+自宅の電話番号

※電話番号は市外局番から入力する

□携帯電話のメール（災害用伝言板など）

2. 避難場所の確認

□ハザードマップの活用

3. 家具などの耐震固定

□家具類の転倒・落下防止対策ハンドブック

（東京消防庁 平成20年）

4. 非常持ち出し品の準備

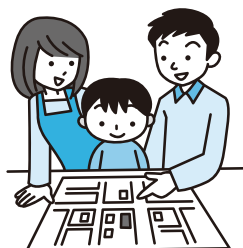
□食料・水などの準備

□懐中電灯・携帯ラジオの用意

☆定期的な確認を！

5. 家の耐震補強

まずは、
できることから
備えましょう！



津波から命を守るためには迅速な避難しかありません！

地震だ、津波だ、すぐ避難！！



津波の高さは、
地形に大きく影響します。

したがって、大津波の警報が発表された場合、津波の到達予想高に関わらず、できる限り少しでも高い場所に避難するよう心掛けましょう。

高台まで長距離を

移動しなければならぬ場合。

状況に応じて、近くの堅牢な高い建物の最上階等に避難しましょう。

津波警報が発表される前に
津波が来ることもある。

震源が近い場合、津波の警報が発表される前に津波が押し寄せてくることも考えられます。そのようなことから、経験したことのない強い揺れがあった場合や長時間揺れが続いた場合は、津波の警報を待たずに直ちに高台などへ避難するよう心掛けましょう。

河川付近でも注意が必要。

海岸から離れていても津波は遡上してきます。津波・大津波の警報が発表された場合、河川から直ちに離れるよう心掛けてください。

津波は何度も押し寄せてくる。

津波の警報等が解除されるまでは、海岸や河川には絶対に近づかないようにしてください。